

【令和5年度福祉教育推進セミナー】を開催しました。



去る11月8日(水)、茨城県市町村会館大会議室において令和5年度福祉教育推進セミナーを開催しました。

県内の教職員や社協職員など24名の参加があり、明星大学教育学部教職担当客員教授福原冬彦先生の基調講演の後、ワークショップ(4グループ編成のグループワーク)が行われ、「総合的な学習の時間」の活動プログラムづくりに挑戦しました。参加者は少数でしたが、中身の濃い充実した内容となりました。

事後アンケートによると、基調講演については、「子どもたちが地域における実際の活動によって大きく変わり、自分で考え、行動すれば必ず将来生きてくることなど、『総合的な学習の時間』についての新しい発見と『学び』がたくさんあった」、ワークショップでは、「地域や立場の異なる方々と同じテーマで考えることができ貴重な体験となった」などの感想が寄せられ、「『総合的な学習の時間』の取り組みについて、それぞれの立場で意見を出し合い、活動プログラムをともに考えることによって、学校・地域・社協の連携を強める一助とする」とした当初の目的が達成できたものと思われま。

県社協では今後も、福祉教育担当者との連携やセミナー内容の充実を図ってまいります。次年度は、多くの皆様の御参加をお待ちいたしております。

